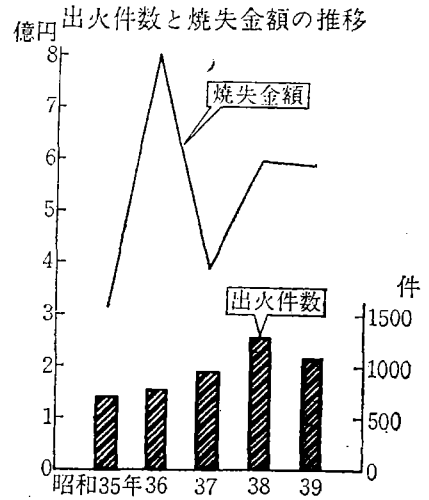


112. 火 災

39年の人口1万人当たり出火件数は4.2件で、前年の5.1件より減少を示した。

焼失による損害額は5億9千万円、建物の焼失面積は約3万8千m²、林野の焼失7,300アール、645世帯2,733人の罹災者（うち20人死亡）を出している。

出火原因別では不注意による人災、いわゆる失火が84.2%を占めている。



年 月	出 火 件 数 と 損 害 状 況					
	出火件数	焼 損 棟 数		罹災世帯数	罹災者数	損害見積額 (1000円)
		総 数	(うち)全焼			
昭和 30 年	449	352	215	272	1 050	404 727
31	563	546	343	221	947	167 127
32	640	708	469	303	1 240	308 129
33	611	706	439	296	1 088	305 697
34	539	545	332	271	999	213 282
35	720	707	416	486	2 162	318 495
36	767	743	434	408	2 847	803 925
37	958	817	497	527	2 490	390 117
38	1 269	1 022	551	617	2 790	599 769
39	1 079	849	382	645	2 733	594 363
昭和39年原因別月別発生件数						
	総 数	(うち)電気による発熱	ガス, 油類を燃料とする器具, 装置	まき, 炭, 石炭を燃料とする道具, 装置	火種 (それ自身発火しているもの)	自然発火あるいは再燃を起しやすいもの
総 数	1 079	118	211	114	418	30
1 月	88	10	20	8	27	1
2	157	14	21	17	78	2
3	173	19	29	17	73	7
4	93	3	22	16	41	1
5	83	9	17	12	26	2
6	58	5	14	1	19	2
7	45	7	9	1	20	1
8	66	6	14	4	31	1
9	46	12	12	5	6	5
10	52	2	13	7	18	1
11	81	15	14	13	20	2
12	137	16	26	13	59	5